

6. 事業内容	上位目標：東エルサレムの学校や地域社会施設において、人々の健康を守り健康を促進させるための仕組みをつくり、発展させる。 事業地：ヨルダン川西岸地区の一部であるエルサレム行政区（イスラエルが併合した東エルサレムを含む） 活動内容： ①生徒（トレーナー）のトレーニングと保健委員会の設立・活性化 ②学校教師に対する健康教育に関するトレーニング ③学校に対する健康によい環境づくりの指導 ④学校生徒・幼稚園児に対する健康診断の実施とフォローアップ体制の指導 ⑤学校生徒、幼稚園児、その母親たちに対する健康教育 ⑥地域住民に対する救急法トレーニングと、地域における救急委員会の設立 ⑦地域住民に対する健康教育と健康診断の実施
7. これまでの成果、課題・問題点、対応策など	①これまでの事業における成果（実施した事業内容とその具体的成果） エルサレム行政区の学校 4 校に保健委員会を設置し、そのメンバーとなった生徒に対して衛生・栄養・救急救命法などのトレーニングを実施した他、15 校で学校内の衛生環境のモニタリングと教師・生徒へのアドバイスを行い、これらの学校の保健委員会のメンバーを対象に健康教育も実施した。加えて、学校教師 30 人に対して健康教育と救急法のトレーニングも実施した。これらの活動により、保健委員会に参加する学生と教師が協働して主体的に、学校衛生の向上のための活動や、他生徒に対する健康意識向上を促す活動、さらに健康診断で紹介された問題のフォローアップなどを行なうようになった。同時に、パレスチナ自治政府教育省も学校保健の担当官を現場に派遣するとともに、講習会開催の調整役も担うなど積極的に当事業に関わるようになってきた。JVC とそのパートナー団体である医療救援協会（MRS）は他にも、幼稚園教師に対する健康教育と救急法に関するトレーニングや、学校生徒と幼稚園児とその親への健康教育や健康診断、地域社会施設での健康教育や救急救命法講習を行った。これらの諸活動を通じて、生徒・園児・住民の健康に対する知識と意識の向上がみられるだけでなく、JVC・MRS・自治政府・地域住民・生徒・教師の間での健康を守るための連携も強化された。 ②これまでの事業を通じての課題・問題点 生徒（トレーナー）のトレーニングについて、当初計画では 2012 年 12 月末までに全ての講習を終了する予定だったが、ワクフ校および自治政府の公立校がストライキによって幾度も閉鎖されたため、講習の実施回数が予定より遅れた。また、幼稚園教師に対する健康教育と救急法に関するトレーニング後に実施したテストでは、正解率が目標値に達しなかった。さらに、学校に対する健康によい環境づくりの指導の一環として、2012 年 12 月に学校教師・幼稚園教師に対して専門的な救急法トレーニングを行うことになっていたが、自治政府教育省との調整が難航し、複数の学校でストライキも起きたため、専門的な救急法トレーニングはこれから実施する。地域社会施設等での地域住民に対する救急法トレーニングと救急委員会の設立については、2013

年 1 月末までに全てのトレーニングが終了する計画だったが、学校・地域社会施設・自治政府との調整・交渉や学校・地域社会施設での健康診断や学校・生徒に対するトレーニング実施後のフォローアップに注力したため、まだ全行程の完了までは至っていない。また、アッラーム地区の社会地域施設で救急法講習後に実施したテストと、地域住民への健康教育セッションの後に実施したテストでは、事前テストに比べて平均正解率が大きく上がったものの、全体としては目標値に達しなかった。

③上記②に対する今後の対応策

生徒(トレーナー)のトレーニングについては、全てのトレーニングを 2013 年 2 月中に完了し、3 月から 5 月にかけて各保健委員会の活動の観察とフォローアップに注力する。幼稚園教師へのトレーニング後に実施したテストで正解率が目標値に達しなかった件については、今後原因を調査するとともに、さらなるトレーニングと各教員を対象にしたフォローアップを行い、知識・技術レベルの向上を図る。学校・幼稚園の教師を対象にした専門的な救急法トレーニングについては、2013 年 2 月中に 3 日間の集中講習を開催する予定である。地域社会施設等での救急法トレーニングについては、地域社会施設 3 箇所と大学 1 校での救急法講習を 3 月中に終了した後、4 月に集中講習会を開催し、それぞれ 10 時間の専門的な救急法トレーニングを提供する。また、地域社会施設での地域住民を対象にした健康教育については、事後テストで 70%以上の正解を得た参加者の割合が高まったものの目標値に達していない件に関し、セッションの方法や内容の検討を行っていく。